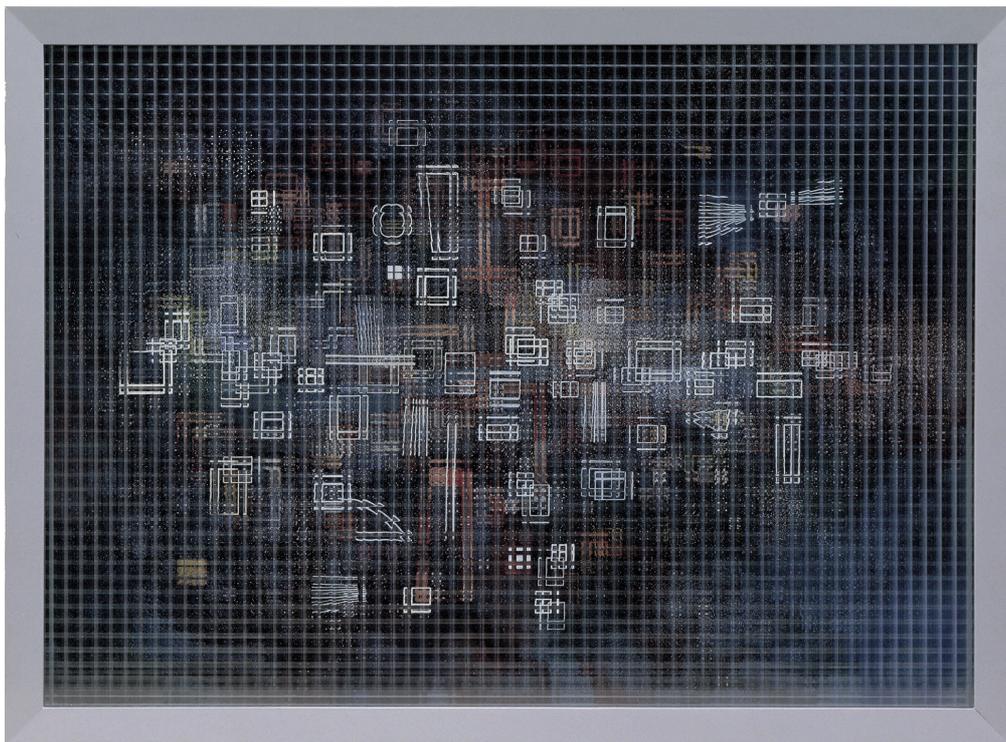


コレクション Viewpoint

## 追悼 山口勝弘 1928-2018

Katsuhiro Yamaguchi 1928-2018



図版1. 《ヴィトリーヌ 海のシンフォネット》1957年  
モール・ガラス、ガラス、油絵具、塗料、紙、合板 DIC川村記念美術館

---

この夏、DIC川村記念美術館は、コレクション展示の一環として、5月に一周忌を迎えた山口勝弘の初期作品を約20点一挙に展示します。油彩などのイメージを凹凸模様のあるガラス板で何層にも覆い、鑑賞者が動くと絵も動いて見える「ヴィトリーヌ」シリーズなど実験性の強い作品群は、遊び心と新鮮な魅力を湛えています。

---

会 期	2019年6月22日(土) - 9月1日(日)
開館時間	9:30-17:00 (入館は16:30まで)
休館日	月曜(7月15日、8月12日は開館)、7月16日(火)、8月13日(火)
入館料	一般1,000円、学生・65歳以上800円、小中高600円
会 場	DIC川村記念美術館(千葉県佐倉市坂戸631)
電 話	掲載用=050-5541-8600(ハローダイヤル) 取材用=043-498-2672(事務所直通)
主 催	DIC株式会社

## 展示概要

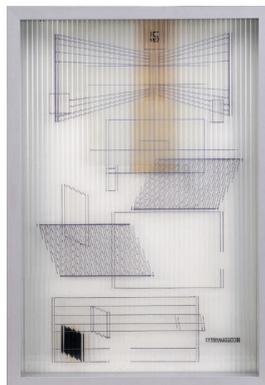
山口勝弘（1928-2018）は既存の絵画、彫刻の枠に捉われず光、映像、音響など時代ごとの最新テクノロジーを使った実験的な作品を発表し、メディア・アートの先駆者と呼ばれました。1951年に瀧口修造を思想的基軸として結成した総合芸術グループ「実験工房」の中心メンバーとして活動、1972年に中谷芙二子らと結成した「ビデオひろば」での活躍などは特筆すべきものです。作家としての活動のほかにも、筑波大学等で教鞭をとった教育者としての実績は高く、『不定形美術ろん』（1967）をはじめとする多数の著書から美術評論家としても知られています。生涯にわたって多面的に活躍した山口勝弘の一周忌を偲び、DIC 川村記念美術館では初期の代表作である「ヴィトリーヌ」と「布張り彫刻」を中心とする約20点を展示します。

## 出品作品について

「絵画や彫刻や建築など、造形芸術に現れる重力感という効果ほど私を憂鬱にさせるものはない。（中略）私の仕事は、ヴィトリーヌ以来、重力への挑戦である。（『美術手帖』増刊号より 1963年5月 美術出版社）」という作家の言葉があります。この「重力への挑戦」は今回展示する作品に一貫してみられる姿勢です。20代の代表作である「ヴィトリーヌ」は、凹凸状のガラスであるモール・ガラスを通して多層に描かれた内部の絵を見る箱型の作品シリーズです。視点の動きに合わせてガラスに描かれたイメージが浮かび上がり、ゆらぐ仕掛けがほどこされています。また、1962年にはじめて発表した「布張り彫刻」は立体状に成形された鉄枠に麻布を張った彫刻のシリーズです。一般的な彫刻は重量があり、床に置かれて展示されますが、そのような常識に抗うように、中身が空洞のこれらの作品は「彫刻」と名付けられながら軽やかに床ではなく壁に展示されます。



**図版 2.**  
《作品 1948》1948年  
油彩、カンヴァス  
DIC 川村記念美術館



**図版 3.**  
《ヴィトリーヌ 静かな昇天》  
1955年 モール・ガラス、ガラス、  
油絵具、塗料、合板  
DIC 川村記念美術館



**図版 4.**  
《風の枢》1962年  
麻布、鉄  
DIC 川村記念美術館



**図版 5.**  
《マグネティック・レリーフ No.1》1963年  
塗料、木、磁石、鉄  
DIC 川村記念美術館

## 作家略年譜

- 1928** 東京生まれ
- 1945** 日本大学工学部予科に入学
- 1948** 北代省三、福島秀子らと「七耀会」を結成
- 1951** 日本大学法学部卒業  
北代省三、福島秀子、武満徹、秋山邦晴らと「実験工房」を結成
- 1951** タケミヤ画廊で最初の〈ヴィトリヌ〉発表
- 1950's 後半** 銀座の和光ギャラリーにて3回のヴィトリヌの展示
- 1961-62** 最初のヨーロッパ、アメリカ旅行。ニューヨークでオノ・ヨーコほか「フルクサス」のメンバー等と交流、  
またキースラーのアトリエを訪ねる
- 1962** 最初の布張り彫刻を発表
- 1963** マグネティック・レリーフ作成
- 1966** アクリル樹脂を材料とした最初の光の彫刻を発表。「エンバイラメントの会」を結成
- 1967** 『不定形美術ろん』を刊行
- 1968** ヴェネチア・ビエンナーレ展の日本代表に選ばれる
- 1970** 日本万国博三井グループ館チーフプロデューサーを務める
- 1972** ビデオによる芸術活動を目的とした「ビデオひろば」を結成
- 1977** 「イマジナリウム」構想を発表
- 1977-92** 筑波大学芸術学系教授
- 1978** 『環境芸術家キースラー』を刊行
- 1981** ポートピア'81 テーマ館顧問
- 1982** 「グループ・アールジュニ」の結成に参加し、日本におけるハイテクノロジー・アートの推進活動をはじめ
- 1990** 淡路島芸術村計画の推進活動をはじめ
- 1992-** 筑波大学名誉教授
- 1992-97** 名古屋国際ビエンナーレ、アーテックのディレクターを務める
- 1999-** 神戸芸術工科大学視覚情報デザイン学科教授
- 2000-02** 環境芸術学会会長
- 2001-** 女子美術大学客員教授
- 2006** 神奈川県立近代美術館 鎌倉、茨城県近代美術館で「メディア・アートの先駆者 山口勝弘展「実験工房」から  
テアトリヌまで」開催
- 2018.5.2.** 90歳で逝去

## 図版掲載をご希望の方へ

- \* 作家名・タイトル・制作年・所蔵者名は必ず明記してください。
- \* 掲載情報の事実確認をさせていただくため、発行前に PDF でレイアウトをお送りください。
- \* 紙媒体は掲載物送付（掲載ページの PDF 可）、ウェブ媒体は公開用掲載ページの URL 通知をお願いします。
- \* このページを出力しファックスしていただくか、Eメールで下記の情報をお知らせください。

お名前 \_\_\_\_\_ ご所属 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_ Eメール \_\_\_\_\_

媒体名 \_\_\_\_\_

掲載号 \_\_\_\_\_ 発行予定日 \_\_\_\_\_

コーナータイトル \_\_\_\_\_

執筆者名（記名原稿の場合） \_\_\_\_\_

図版 No. \_\_\_\_\_

図版送付×切日（対応できない場合もあります） \_\_\_\_\_

### お問い合わせ・追加資料リクエスト先

DIC 川村記念美術館

TEL 043-498-2672（取材用）※記事掲載用は 050-5541-8600（ハローダイヤル）

FAX 043-498-2139

広報担当：海谷紀衣 [press@kawamura-museum.com](mailto:press@kawamura-museum.com)

学芸担当：杉浦花奈子